

# 千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和6年(2024)4月5日

## 4月号



URL : [www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/](http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/)

## 挑戦！チャレンジ！千秀小

校長 平島幸江

正門のサクラの木に淡いピンクの花が咲き新年度の訪れを感じます。時折、かわいらしい鳥のさえずりも聞こえてきて、また春が巡ってきたのだなと嬉しくなります。

新年度を迎え、本校は全校児童194人でスタートいたしました。振り返れば、今年の4月は、マスク着用を「求めない」対応が始まったばかりで、なんとなくの不安のある新学期スタート。新しいスタンダードを探し、有効で持続可能な教育活動を探し続けた1年間でした。それを思うと、本当に今年度は落ち着いて新年度を迎えることができました。1年間の見通しをもって教育活動をスタートさせることができます。

さて、今年度も、学校教育目標は「自分で考え 表現し 挑戦し続ける子」の実現です。昨年度と継続して取り組んでいきますが、私は、その実現のカギになるのは、総合的な学習の時間や生活科の活動であると考えています。昨年度は、「ド根性ひまわりプロジェクト(個別支援級)」「幼保小交流会(1年)」「江ノ島水族館遠足(2年)」「まちの魅力再発見(3年)」「太陽の光×メープル(4年)」「米作り(5年)」「千秀のまちを調べよう(6年)」などの単元名で、発表形式や交流活動、制作栽培活動など様々な形で活動を行いました。いずれの活動でも児童が目を輝かせて、本気になって取り組む姿が見られ、まちの皆様や他校他園の児童や先生方、企業・関係機関の皆様、そして何より児童にとって一番身近な保護者の皆様、本当に多くの方のお力添えで児童の思いが実現し、人とのつながりが広がり、充実した学習活動となりました。児童の自信にもつながっていると思います。

今年度も、新学年で新たな担任のもと、新しい活動に取り組むことにはなりますが、この様々な表現活動の取り組み自体は継続します。どのような活動を選択するのでしょうか。今からとても楽しみです。児童の思いや願いを大切にしながら、学級のみならず話し合い、選択し、「まずやってみよう」「一歩踏み出してみよう」「間違えてもはかしくないよ」「間違えることはお宝体験」「今度こそ！成功させるぞ」と試行する力を、児童自身が体感し会得していく1年間にしてほしいと思います。挑戦、チャレンジする千秀小学校です。

今年度より、学年担当制を少し変更しました。(職員間では「ブロック制」と呼んでいます。)各学年ブロックに担任と担任たちをサポートする副担任を配置しました。この体制のメリットは、児童の様子をより多くの目で見守ることで、一人の担任の抱え込みを防ぐことがあります。特に高学年ブロックでは、中学校の教科担当制に近づけた指導が期待できます。また、学級を二つのグループにわけて少人数で柔軟に指導することも可能になります。初めてのチャレンジなので、教員が戸惑うこともあるかもしれませんが、何かお気づきのことがありましたらご遠慮なくお知らせください。

「挑戦！チャレンジ！」の令和6年度の千秀小学校へのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。